ハードウェア設置手順
クイックスタート
Avaya G700 Media Gateway
および
Avaya S8300 Media Server

555-233-150JA
第 8 版
2007 年 2 月

© 2007 Avaya Inc.
本書の内容は著作権法上の保護を受けております。著者、発行者の承諾を得ず、無断で複写、複製をすることは禁じられております。

注意

本書に記載される情報は、印刷時点において完全かつ正確であることを期していますが、米国アバイア社では、いかなる誤謬に対しても責任は持ちません。本書に記載されている情報は、今後のリリースで変更および修正される可能性があります。

法律関係の完全な情報については、*Avaya Support Notices for Hardware Documentation*、文書番号 03-600759 を参照してください。

同文書をウェブサイトで検索する場合は、http://www.avaya.com/support にアクセスし、検索ボックスに文書番号を指定します。

本書に関する免責

米国アバイア社によって行われたものでない限り、本書の原本に対するどのような改訂、追加、削除に対しても、アバイア社は責任を持ちません。顧客またはエンドユーザーによって行われた本書に対する改訂、追加または削除によって、またはそれらに伴って生じたすべての要求、訴訟、賠償、判決に対して、アバイア社、アバイア社代理店、アバイア社従業員は一切責任を持たず、それらに関するどんな補償もしません。

リンクに関する免責

本書で参照されたウェブサイトリンクの内容や信頼性に対しても、米国アバイア社は一切責任を持ちません。また、そのようなリンクで説明、提供された製品、サービス、情報は、必ずしもアバイア社の保証の対象になるものではありません。アバイアでは、このようなリンクが常に機能することは保証できません。また、リンクされたページが利用できるかどうかについても管理は行っていません。

保証

米国アバイア社の本製品についての保証は、限定的なものとします。限定的保証の意味については、販売契約を参照してください。また、アバイア社の標準保証条項、および本保証における製品のサポートについては、下記のアバイアのウェブサイトにアクセスしてください。
http://www.avaya.com/support

著作権

明示的に記載されている場合を除き、本製品は、著作権および、所有権に関するその他の法律により保護されています。不正な複製、譲渡、および使用を行った場合、該当する民法および刑法における法律違反となる可能性があります。

アバイアのサポート

アバイアでは、問題の報告や製品のお問い合わせにご利用いただける電話サポートを行っています。アメリカ国内のサポートの電話番号は、1-800-242-2121 です。その他のサポート電話番号については、下記のアバイアのウェブサイトにアクセスしてください。
http://www.avaya.com/support

目次

第 1 章：設置サイトへ行く前に 5
本書以外のマニュアル 5
ライセンスファイル、ソフトウェア、ファームウェア 5
ラップトップ要件 6

第 2 章：装置の部品の確認 7

第 3 章：メディアゲートウェイの取り付け 13

第 4 章：Octaplane Stacking Module の取り付け 15

第 5 章：メディアゲートウェイの接続 17

第 6 章：S8300 Media Server の取り付け 19

第 7 章：メディアモジュールおよび拡張モジュールの取り付け 21

第 8 章：USB モデムおよび CD-ROM ドライブの取り付け 23

第 9 章：UPS の取り付けおよび電源の入力 25

第 10 章：ラップトップの接続 — S8300 なし G700 の場合 27

第 11 章：ラップトップの接続 — S8300 付き G700 の場合 29

目次

第 1 章：　設置サイトへ行く前に

設置サイトへ行く前に、次の準備作業を完了する必要があります。

本書以外のマニュアル

次のマニュアルを入手します。

- G700/S8300 設置マニュアル：*Installation and Upgrades for Avaya G700 Media Gateway and Avaya S8300 Media Server*, 555-234-100。
- マニュアルライブラリ（CD 版からラップトップにインストールするか、アバイアお客様サポートのウェブサイトから入手する）：*Documentation for Avaya Communication Manager, Media Gateways and Servers*, 03-300151。

ライセンスファイル、ソフトウェア、ファームウェア

Avaya S8300 Media Server および Avaya G700 Media Gateway を設置する前に、次の準備作業を完了する必要があります。

S8300 および G700 を設置する前の準備作業

1. 顧客と会って、**Electronic Preinstallation Worksheet**（EPW）の記入を完了します。EPW には、顧客のネットワーク設定や電話システム要件に関する特定の情報が含まれています。これらの情報は、Avaya Installation Wizard（AIW）を使用して Avaya IP ソリューションを設定するために必要な情報です。

   注記：

   AIW を使用するには、メディアサーバーにリリース 2.0 以降の Communication Manager をインストールしておく必要があります。メディアサーバーにリリース 2.0 以前の Communication Manager がインストールされている場合は、AIW を使用する前に Communication Manager をアップグレードしてください。

   注記：

   AIW の最新リリースは、英語のオペレーティングシステムしかサポートしていません。

2. AIW を使って、G700 の S8300 主コントローラに**基本トランスレーション**を生成する場合は、顧客名／ナンバーリストファイルおよびカスタムテンプレートも入手してください。これらのファイルをラップトップにコピーします。EPW には、顧客名／ナンバーリストファイルおよびカスタムテンプレートのインストラクションが含まれています。

3. Remote Feature Activation（RFA）（リモート・フィーチャー・アクティベーション）から必要なライセンスファイルを取得します。

   注記：

   Communication Manager Release 3.1 から、AIW で基本トランスレーションの生成を行うために、FEAT_DADMIN のログイン許可をライセンスに含める必要はなくなりました。ただし、ビジネスパートナーについては、引き続き FEAT_DADMIN のログイン許可をライセンスに含めます。

4. Authentication File System（AFS）（認証ファイルシステム）からパスワード（認証）を取得します。
5. CD-ROM 上の最新バージョンのソフトウェアとファームウェアを入手します。ファームウェアの最新バージョンを http://support.avaya.com で確認してダウンロードします。必要な場合は、ダウンロードセンターからダウンロードを行います。
6. 顧客が注文の一部として USB CD-ROM ドライブを購入しているかどうか調べます。注文に USB CD-ROM ドライブが含まれていない場合は、サイトで一時的に使用するため USB CD-ROM ドライブを取得します。
7. AIW に加えて ProVision を使用する場合、技術者は通知を受けます。ProVision を使用すると、**Communication Manager** のすべてのトランスレーションをアップロードできます。AIW の ProVision 用オプションに関する情報は、EPW を参照してください。

ラップトップ要件

S8300 および G700 へのアクセスと、AIW の起動に使用するラップトップ PC は、次の要件を満たす必要があります。

- 800 x 600 以上のディスプレイ解像度
- 10/100 イーサネットカードをインストール済
- Windows 95 以降
- Internet Explorer 5.0 以降
- シリアル通信インタフェース

以上の準備がすべて完了したら、本書の説明に従って、製品ハードウェアの設置を開始できます。

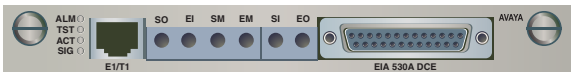
第 2 章： 装置の部品の確認

以下の装置部品の一覧には、構成によっては不要な部品も含まれています。「オプション」と指定のある部品は、ユーザーの装置部品の目録には含まれないことがあります。

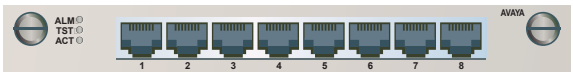
Avaya G700 Media Gateway シャーシ

Avaya S8300B Media Server （オプション）

Avaya S8300C Media Server （オプション）



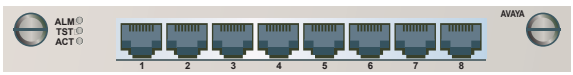
Avaya MM710 T1/E1 Media Module （オプション）



Avaya MM711 Analog Media Module （オプション）

注記：

Analog Media Module と DCP Media Module は外見が似ています。ラベルをチェックしてモジュールタイプを確認してください。



Avaya MM712 DCP Media Module （オプション）

注記：

DCP Media Module と Analog Media Module は外見が似ています。ラベルをチェックしてモジュールタイプを確認してください。

Avaya MM714 4FXS x 4FXO Analog Media Module （オプション）

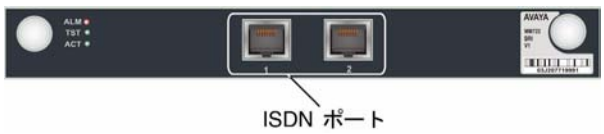
Avaya MM716 24-port Analog Media Module（オプション）

Avaya MM717 24-port DCP Media Module（オプション）

注記：

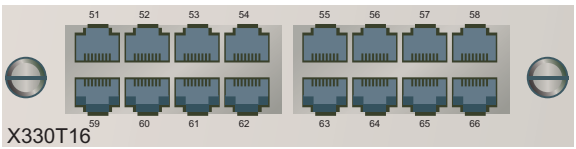
このメディアモジュールに接続するエンドポイントは、建物内に限る必要があります。

Avaya MM720 8-port BRI Media Module（オプション）



Avaya MM722 2-port BRI Media Module（オプション）

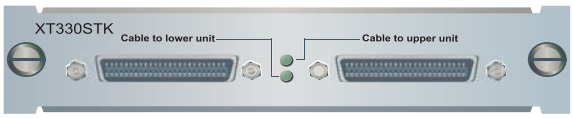
Avaya MM760 VoIP Media Module（オプション）



拡張モジュール（オプション）

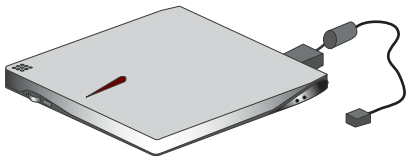
C360 統合積み重ね可能スイッチ : C363T/C363-PWR （オプション）

C364T/C364-PWR



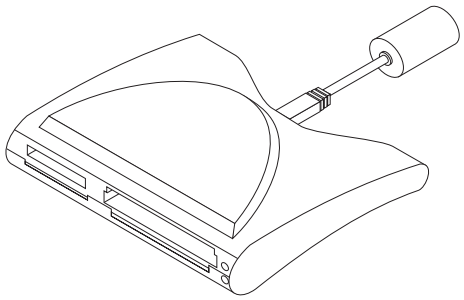
X330STK Octaplane Stacking Module（オプション）

USB モデム（オプション）
パーツ ID: 700235526



CD-ROM または DVD/CD-RW ドライブ（オプション）：

- Teac USB CD-ROM ドライブ。
  パーツ ID: 700289580
- Addonics USB DVD/CD-RW ドライブ。
  パーツ ID: 700406267
  （S8300C でのみ使用可能）
- S8300/S8400 用 DVD/CD-RW ドライブ。パーツ ID: 700406267



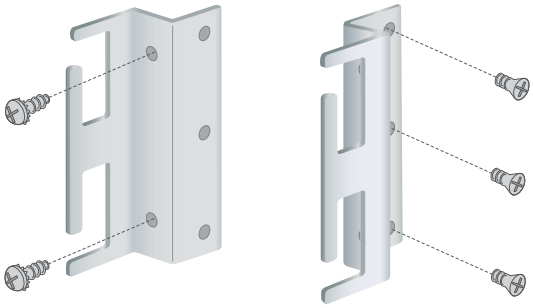
h1dccfla LAO 110306

産業用 Compact Flash カードおよび Compact Flash ドライブ（オプション）は、アバイア販売代理店より購入可能

無停電電源装置（UPS）— AC 電源のゲートウェイのみ（オプション）

注記：

写真はスタンドアローン型 UPS



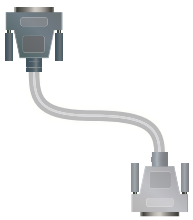
スクリューパックとラック取り付けブラケット

各取り付けブラケットの付属品

- 取り付けブラケットを G700 に固定する平頭ネジ 3 本
- 取り付けブラケットをラックに固定するロックワッシャーと丸頭ネジ 2 本

注記：

パックには、ブラケットをラックに固定する 4 つのサイズのロックワッシャースクリューが入っています。ラックの各穴の大きさに合わせ、適切なサイズのスクリューを使用してください。

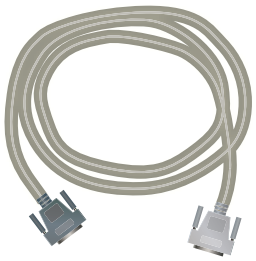


X330SC ショートケーブル（オプション）

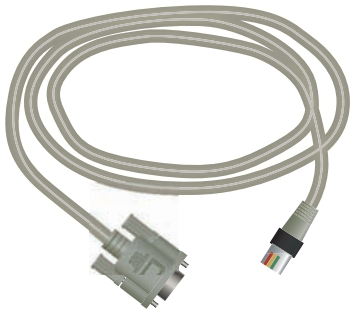
注記：

X330SC ショートケーブルは、X330STK Octaplane Stacking Module に付属して出荷される場合があります。

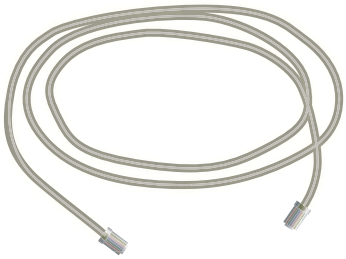
X330RC リダンダントケーブル
（オプション）



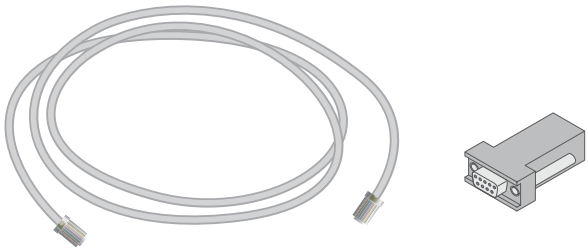
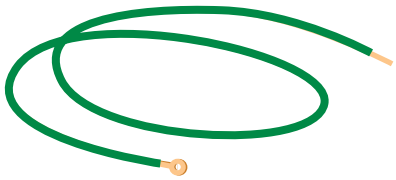
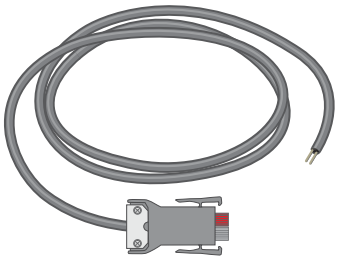
X330LC ロングケーブル（オプション）



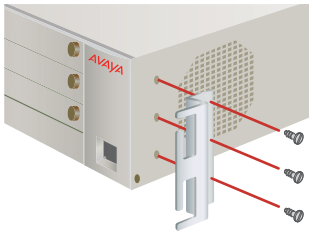
USB モデム用 USB ケーブルとアダプタ
（オプション）



クロス・イーサネットケーブル（CAT5）

	シリアルまたは「コンソール」ケーブルとアダプタ
	アース線
	AC 電源コード（オプション）
	DC 電源コード（オプション）
	脚（机上設置用）

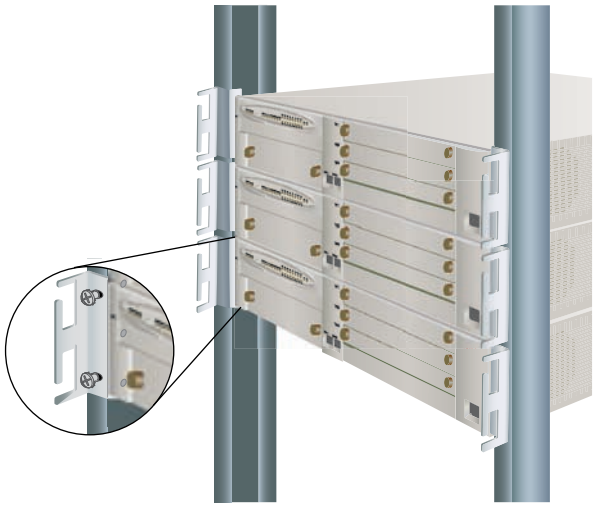
第 3 章： メディアゲートウェイの取り付け



1. 静電気防止用リストバンドを装着して、定格アースに接続します。
2. ラックに取り付ける場合は、取り付けブラケットパックから平頭ネジを取り出し、取り付けブラケットをゲートウェイシャーシの両側にそれぞれ固定します。

注記：

取り付けブラケットは、シャーシの中央部に固定することもできます。

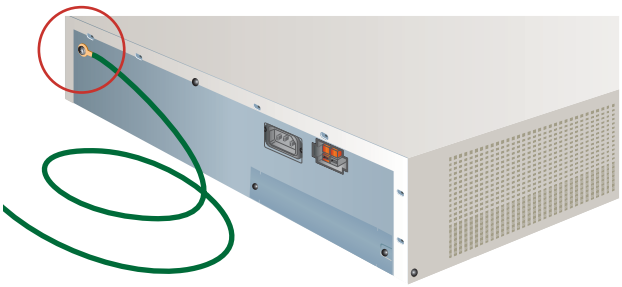


3. メディアゲートウェイのシャーシを持ち上げてラックに載せ、各取り付けブラケットを 2 本のロックワッシャー付きネジで固定します。

注意：

メディアゲートウェイの重量には偏りがあるので、ラックへの取り付けには 2 名必要な場合があります。

4. デスクトップへの設置。プラスチックのプッシュリベットを使って脚を取り付けます。

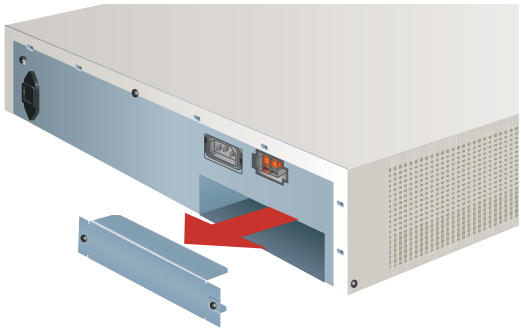


5. メディアゲートウェイの背面にあるアース導体にアース線を接続します。
6. アース線のもう一方の端を定格アースに接続します。

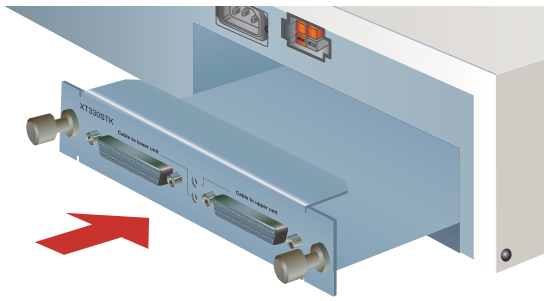
第 4 章： Octaplane Stacking Module の取り付け

注記：

次の手順が必要なのは、複数の G700 Media Gateway を積み重ねて接続する場合のみです。



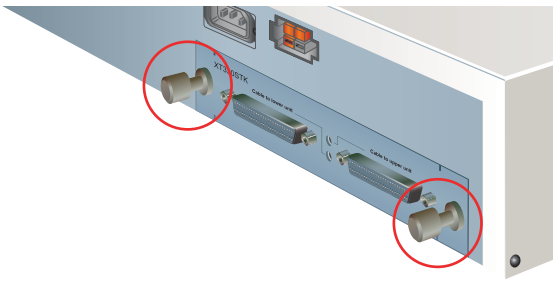
1. メディアゲートウェイの背面にある Octaplane 用スロットから、ブランクフェイスプレートを取り外します。



2. X330STK Octaplane Stacking Module を内側のガイドに合わせ、しっかり固定されるまで差し込みます。

警告：

装置の損傷を防ぐため、モジュールはフェイスプレートや縁を持って扱ってください。

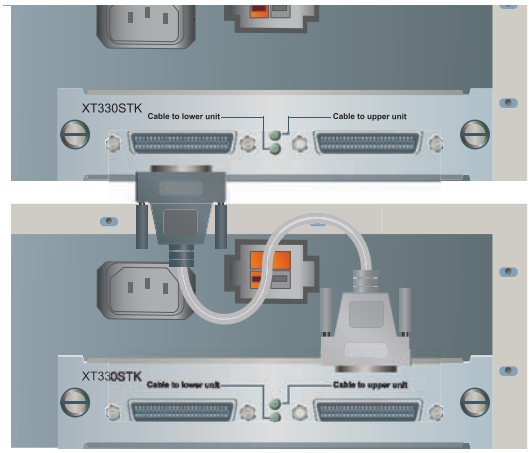


3. 取り付けネジを締めて固定します。

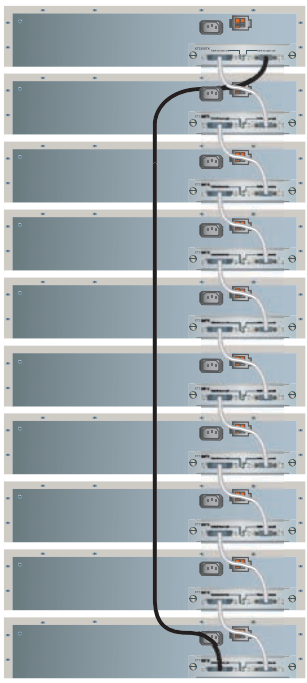
第 5 章： メディアゲートウェイの接続

注記：

次の手順が必要なのは、複数の G700 Media Gateway を積み重ねて接続する場合のみです。

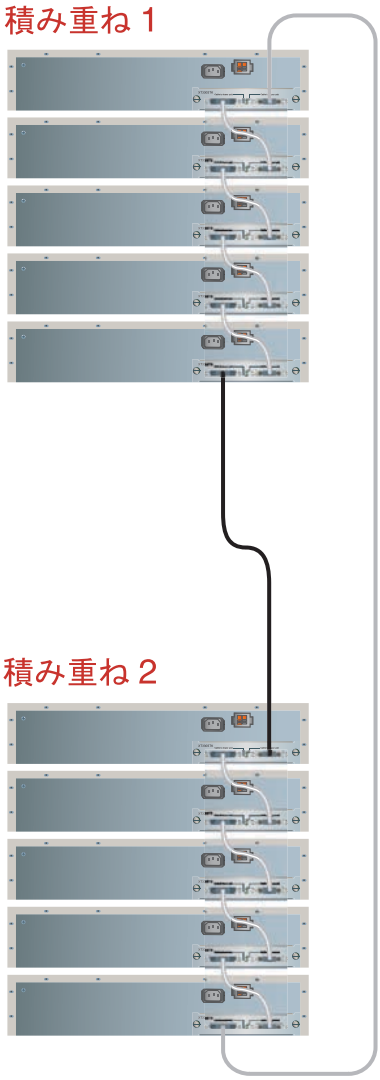


1. グレーの X330SC ショートケーブルを使用して、メディアゲートウェイを下から上に接続します。
   - 「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートにライトグレーのコネクタを接続します。
   - 「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートにダークグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ねたすべてのユニットが接続されるまで、以上の手順を繰り返します（最大 10 ユニットまで）。



単一の積み重ねによる冗長性

2. 単一の積み重ねに冗長性を持たせるには、黒い X330RC リダンダントケーブルで最上部と最下部のユニットを接続します。
   - 積み重ねの最上部ユニットにある「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートに、ライトグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ねの最下部ユニットにある「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートに、ダークグレーのコネクタを接続します。



複数の積み重ねによる冗長性

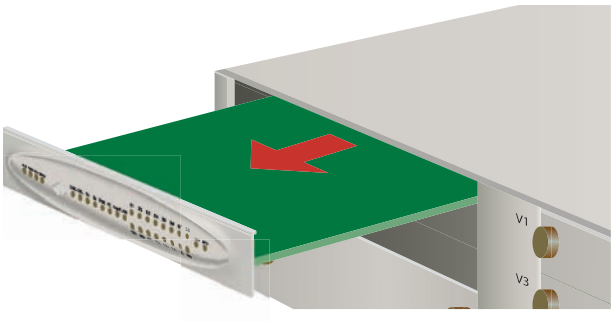
3. 複数の積み重ねに冗長性を持たせるには、黒い X330RC リダンダントケーブルとグレーの X330LC ロングケーブルで積み重ねを接続します。
   - 積み重ね 2 の最上部ユニットにある「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートに、黒い X330RC リダンダントケーブルのライトグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ね 1 の最上部ユニットにある、「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートに、黒い X330RC リダンダントケーブルのダークグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ね 1 の最上部ユニットにある「Cable to upper unit」のラベルが付いたポートに、グレーの X330LC ロングケーブルのライトグレーのコネクタを接続します。
   - 積み重ね 2 の最下部ユニットにある「Cable to lower unit」のラベルが付いたポートに、グレーの X330LC ロングケーブルのダークグレーのコネクタを接続します。

第 6 章： S8300 Media Server の取り付け

注記：

S8300 Media Server （主コントローラまたはローカルサバイバルプロセッサ構成）を取り付ける場合、次の手順に従ってください。

1. G700 Media Gateway の前面から、スロット V1 のブランクフェイスプレートを取り外します。



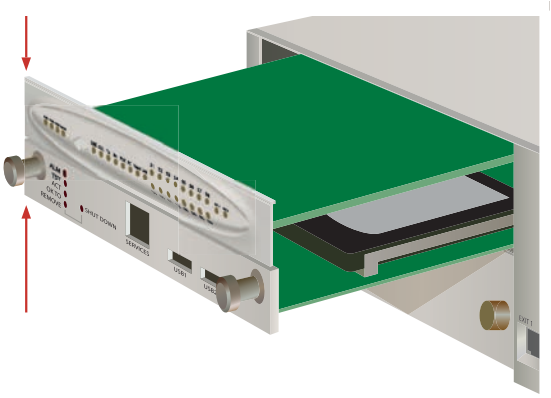
2. S8300B の場合は、スロット V1（左上）から LED モジュールを取り外し、静電気防止バッグに入れます。

   S8300C の場合は、LED モジュールを取り外す必要はありません。

3. S8300 Media Server を内側下部のガイドに合わせます。

   S8300B の場合は、スロット V1 に 5cm（2”）ほど差し込みます。

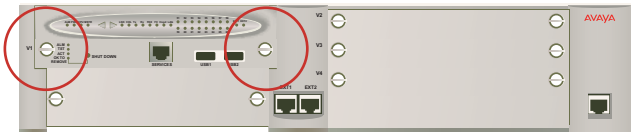
   S8300C の場合は、フェイスプレートが LED モジュールの表面と揃うまで、スロット V1 にしっかり差し込みます。



4. S8300B の場合は、LED モジュールを内側上部のガイドに合わせ、フェイスプレートが S8300B Media Server の表面と揃うまで差し込みます。
5. S8300B の場合は、両方のモジュールを一緒に、しっかり固定されるまで差し込みます。

警告：

2 つのモジュールを同時に差し込まないと、機器を損傷するおそれがあります。



6. 取り付けネジを締めて S8300 に固定します。

第 7 章： メディアモジュールおよび拡張モジュールの取り付け

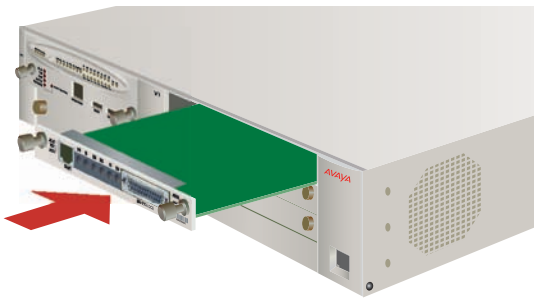
注記：

ゲートウェイごとに拡張モジュールを 1 枚、左下のスロットにのみ取り付けられます。S8300 が（左上の V1 スロットに）取り付けられている場合は、（右側の）V2 から V4 スロットに 3 枚までのメディアモジュールが取り付けられます。S8300 が取り付けられていない場合は、左上のスロット V1 に 4 枚目のメディアモジュールが取り付けられます。

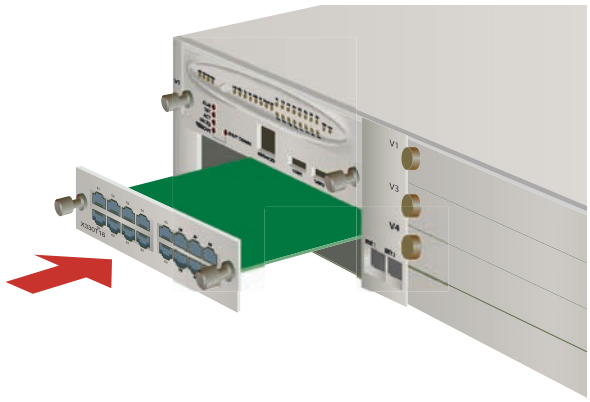
1. メディアモジュールを取り付ける場合は、まず右上（V2 スロット）のブランクフェイスプレートを外します。

   注記：

   すべてのスロットは、モジュールが取り付けられているか、ブランクフェイスプレートで覆われている必要があります。覆われていないスロットがないようにしてください。



2. メディアモジュールを内側のガイドに合わせ、しっかり固定されるまでスロットに差し込みます。
3. 取り付けネジを締めて固定します。
4. 取り付ける各メディアモジュールで、手順 1 から 3 を繰り返します。

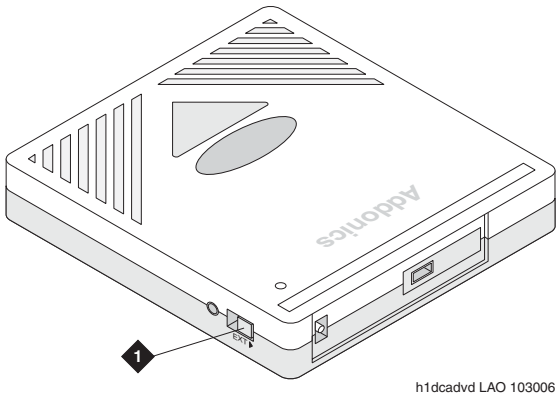


5. 拡張モジュールを取り付ける場合は、まず左下のブランクフェイスプレートを外します。
6. 拡張モジュールを内側のガイドに合わせ、しっかりと固定されるまでスロットに差し込みます。
7. 取り付けネジを締めて固定します。

第 8 章： USB モデムおよび CD-ROM ドライブの取り付け

USB モデム

1. USB ケーブルを S8300 のフェイスプレートにある USB ポートのいずれかに接続します。
2. モデムに同梱されている取扱説明書に従って、USB ケーブルのもう一方の端をモデムに接続します。
3. アナログ電話線をモデムの RJ-11 ジャックに接続します。



h1dcadvd LAO 103006

USB CD-ROM/DVD ドライブ

S8300 ハードドライブを再構成する場合、この USB CD-ROM ドライブまたは DVD/CD-RW ドライブが、ソフトウェアのソースロケーションとして主に使用されます。

1. USB ケーブルを S8300 のフェースプレートにある USB ポートのいずれかに接続します。
2. USB ケーブルのもう一方の端を CD-ROM ドライブまたは DVD/CD-RW に接続します。
3. Addonics DVD/CD-RW ドライブを使用している場合は、電源コードをドライブと電源コンセントに接続します。

   注記：

   TEAC ドライブおよび S8300/S8400 ドライブは、USB 接続のサーバーが電源となります。
4. Addonics DVD/CD-RW ドライブを使用している場合は、電源スイッチを **EXT** 側に設定します（**USB** 側では**ありません**）。左の図の項目 **1** を参照してください。
5. S8300/S8400 DVD/CD-RW ドライブを使用している場合は、オン／オフスイッチを **On** に設定します。

   S8300/S8400 ドライブを使用しないときは、必ず **Off** に設定してください。

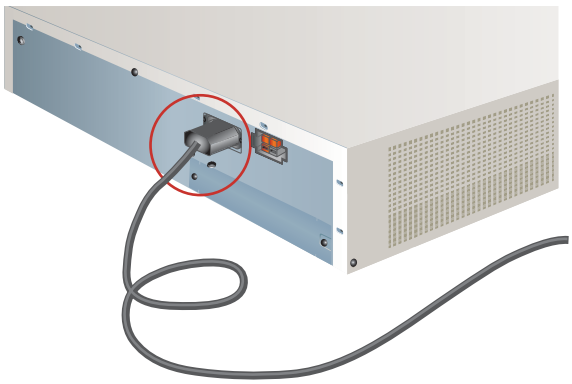
第 9 章： UPS の取り付けおよび電源の入力

UPS （AC のみ）

1. UPS は、AC 電源ゲートウェイのみのオプションです。メーカーの取扱説明書に従って、G700 Media Gateway の背面から無停電電源装置（UPS）を接続します。

注記：

写真はスタンドアローン型 UPS

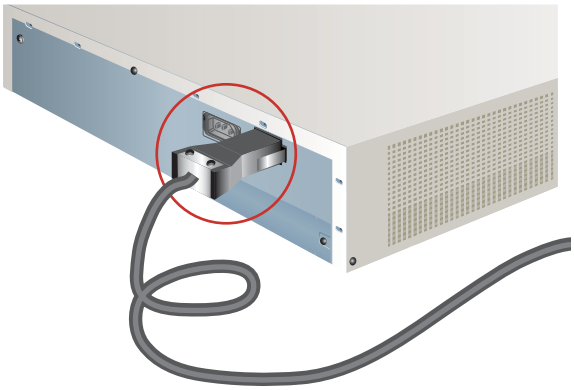


AC 電源

1. 各メディアゲートウェイに AC 電源コードを接続して、電源を入れます。

注記：

オン／オフスイッチはありません。接続されるとユニットに電源が入ります。



DC 電源

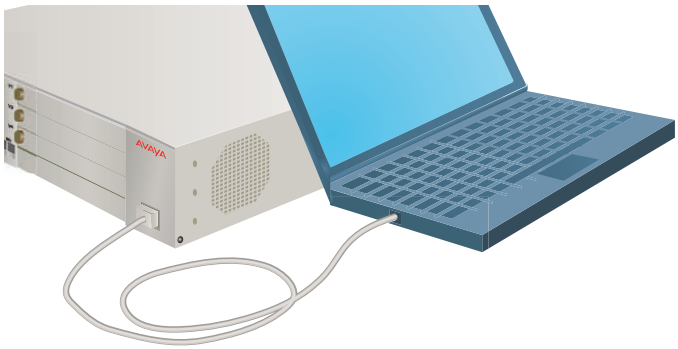
1. 各メディアゲートウェイに DC 電源コードを接続して、電源を入れます。

注記：

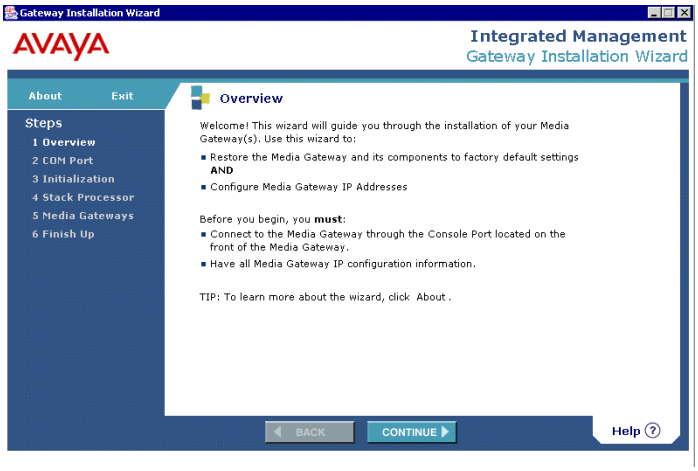
オン／オフスイッチはありません。接続されるとユニットに電源が入ります。

第 10 章： ラップトップの接続 — S8300 なし G700 の場合

このセクションでは、S8300 Media Server を装着していない G700 Media Gateway の、ラップトップの接続について説明します。ラップトップから Gateway Installation Wizard（GIW）を起動して、初期ゲートウェイ構成パラメータを入力します。



1. シリアルケーブルの RJ-45 プラグ端を、G700 前面右下のコンソールポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、ラップトップのシリアルポートに接続します。



3. ラップトップの電源を入れます。
4. Hyperterm （または同様のアプリケーション）セッションを開始します。
5. GIW を起動します。

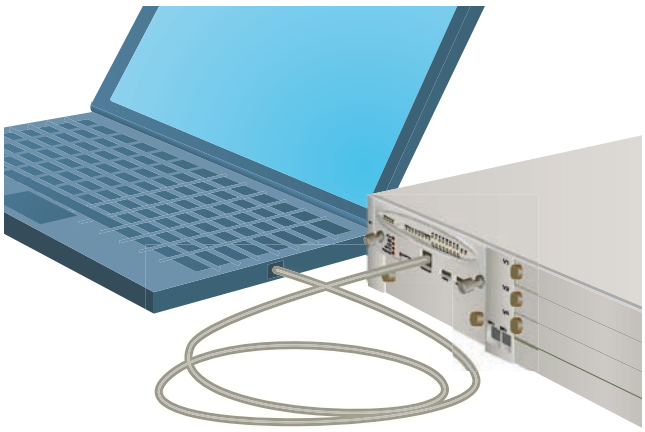
6. GIW の指示に従って構成パラメータを入力します。

顧客の LAN への接続

1. ストレート・イーサネットケーブルを、G700 前面にあるイーサネットポート（Ext 1 または Ext 2 のラベル付き）のいずれかに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、LAN コネクタに接続します。

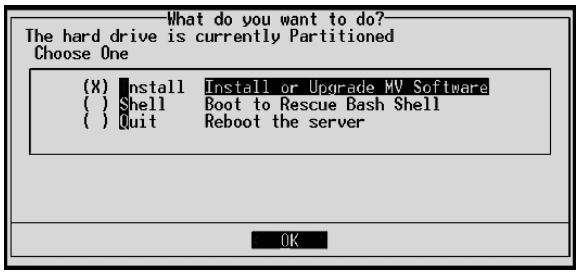
第 11 章： ラップトップの接続 — S8300 付き G700 の場合

このセクションでは、S8300 Media Server を装着している G700 Media Gateway の、ラップトップの接続について説明します。

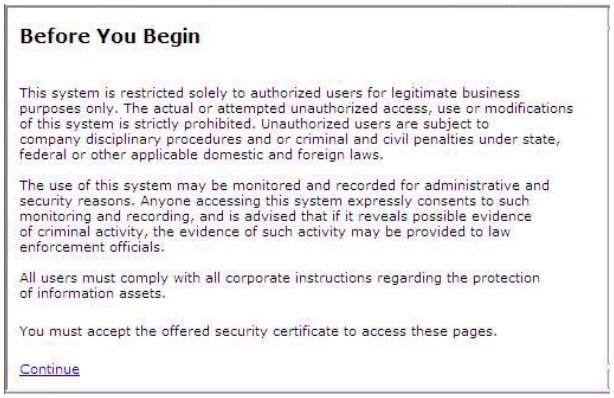


1. クロス・イーサネットケーブルを、S8300 Media Server フェースプレートのサービスポートに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端をラップトップのイーサネットポートに接続します。

3. ラップトップの電源を入れます。
4. PuTTY または別の SSH ツールで SSH セッションを開始します。
5. SSH を使って、**192.11.13.6** に接続します。
6. 必要な場合は、ポート 22 を指定します。



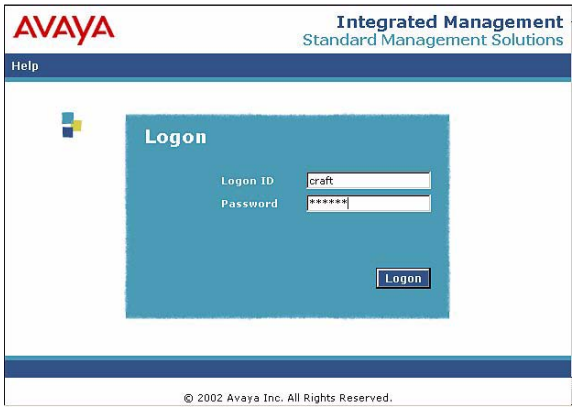
7. 最初の RP インストーラのページが表示されたら、該当するオプションを選択して、ソフトウェアのインストールを最後まで完了させます。



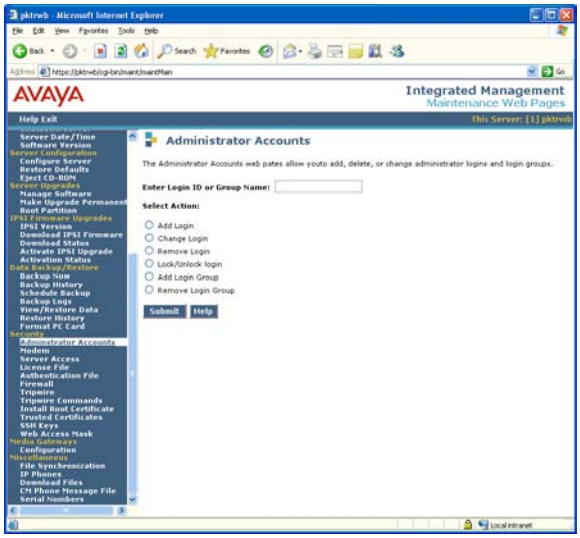
8. サービスネットワークの設定を確認します。
   a. IP Address：192.11.13.5
   b. サブネットマスク：255.255.255.252
   c. ドメイン名サービス（DNS）：disable（使用不可）
9. MS Internet Explorer を開き、プロキシサーバーを使用不可にします。
10. ブラウザのアドレスフィールドに次のアドレスを小文字で入力して、S8300 へのアクセスを開始します。

    http://192.11.13.6

11. **Continue** をクリックして、ログオンページにアクセスします。
12. ログオンページが表示される前にセキュリティページが表示された場合は、適宜 **OK** または **Yes** をクリックします。



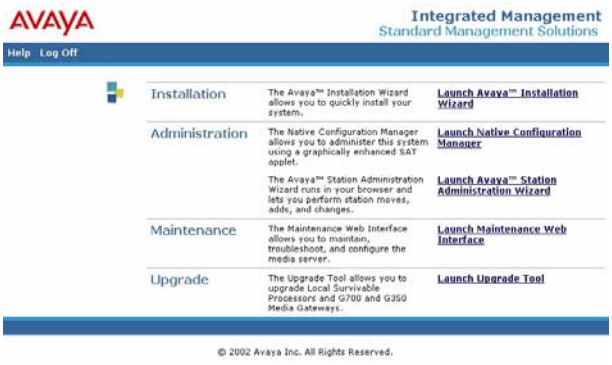
13. S8300 Media Server にログインする際は、初期インストール用の **craft** ログインおよびパスワードを使用します。



14. メニューから Administrator Account を選択して、スーパーユーザー（SUSER）ログインを追加します。ログインを **suser** ログイングループと、**prof18** 追加グループに割り当てます。

注記：

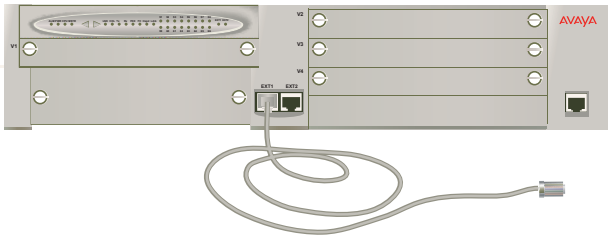
SUSER グループは認証ファイルをインストールする前に作成する必要があります。認証ファイルは、Avaya Installation Wizard（AIW）で自動インストールされます。


AVAYA
Integrated Management
Standard Management Solutions
Help Log Off
Installation
The Avaya™ Installation Wizard allows you to quickly install your system.
Launch Avaya™ Installation Wizard
Administration
The Native Configuration Manager allows you to administer this system using a graphically enhanced SAT applet.
Launch Native Configuration Manager
The Avaya™ Station Administration Wizard runs in your browser and lets you perform station moves, adds, and changes.
Launch Avaya™ Station Administration Wizard
Maintenance
The Maintenance Web Interface allows you to maintain, troubleshoot, and configure the media server.
Launch Maintenance Web Interface
Upgrade
The Upgrade Tool allows you to upgrade Local Survivable Processors and G700 and G350 Media Gateways.
Launch Upgrade Tool
© 2002 Avaya Inc. All Rights Reserved.

15. AIW を使用します。**Launch Avaya Installation Wizard** をクリックして、次の手順に進みます。

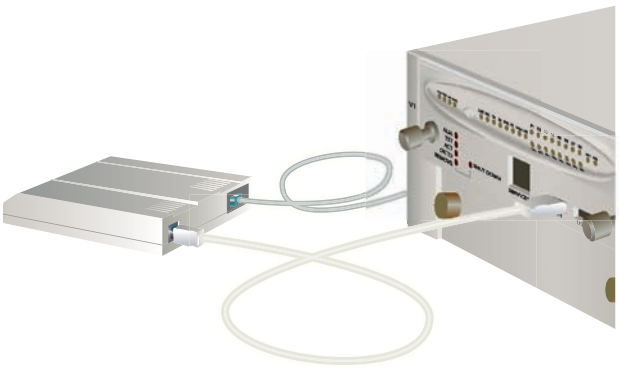
注記：

AIW を**使用しない**場合、詳しくは *Installation and Upgrades for Avaya G700 Media Gateway and Avaya S8300 Media Server*, 555-234-100 を参照してください。



顧客の LAN への接続

1. ストレート・イーサネットケーブルを、G700 前面にあるイーサネットポート（Ext 1 または Ext 2 のラベル付き）のいずれかに接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、LAN コネクタに接続します。



USB モデムの接続

G700 および S8300 をリモートで構成する場合は、USB モデムを接続します。

1. USB ケーブルを S8300 のフェースプレートにある 2 つの USB ポートのどちらかに接続します。
2. モデムに同梱されている取扱説明書に従って、USB ケーブルのもう一方の端をモデムに接続します。
3. アナログ電話線をモデムの RJ-11 ジャックに接続します。
4. Maintenance Web Interface ページで、Security Category の Modem を選択します。
5.「Enable modem for unlimited incoming calls」ボックスを選択して、**Submit** をクリックします。